

アイテム

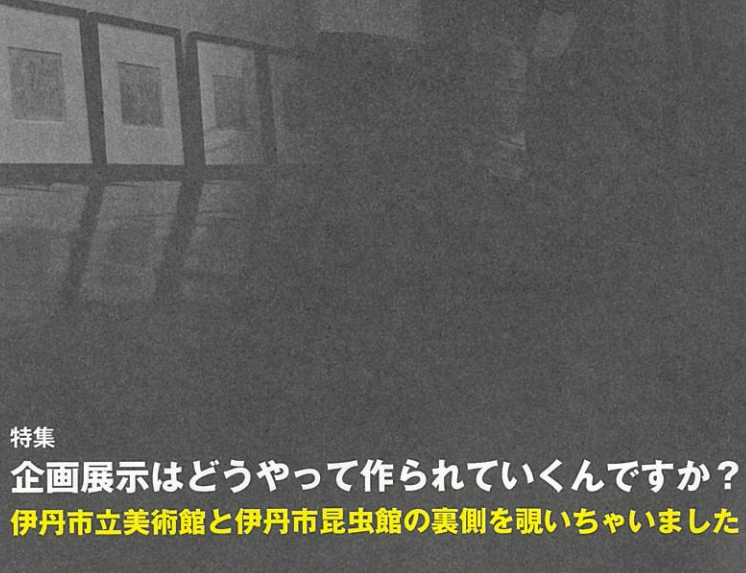
アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

2014.10-12 秋号
公益財団法人 伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

ウレシク側へ

展示の裏側へ



特集
企画展示はどうやって作られていくんですか？
伊丹市立美術館と伊丹市昆虫館の裏側を覗いちゃいました

本で解決！
お悩み
相談室

もうすぐ定年です。
退職後何をどうぞせば
いいでしょうか…。

(仕事と妻ひとすじ無趣味男さん 60代)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで！



本のことなら
おまかせ！
みなみさん

みなみさんの
オススメ本



『三匹のおっさん』
有川浩・著
(文藝春秋)

まずは、長いお勤め生活お疲れ様でした。この本の主役3人はおっさんじゃなくひと昔前ならおじいちゃんが正しいと思うのだけど毎日充実しているようです。まるで平成の必殺仕事人！南分館には豊かな人生をサポートする本のコーナーがあります。本を読んで何かチャレンジしていきたいきてきたらいいですね。

定年後する事がなくて奥さんにうっとうしがられちゃうオジさんってけっこう多いんだって。でも定年って新しい事始めるチャンスの時でもあるよね。そしてその前に！「老前整理」！体が動く元気うちにちゃんとしとかなきゃ。ポサットしていると奥さんにゴミと一緒に整理されちゃうよ。趣味さがしはあとあとっ！

かんこちゃんの
オススメ本



『定年男のための老前整理』
坂岡洋子・著
(徳間書店)



ぶんたくんの
お姉さんの
かんこちゃん

ラストホール1Fの図書館

伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2014年10月1日発行(季刊秋号・通巻81号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



美術館「魂の画家 ジョルジュ・ルオー展」
(11/8(土)～12/23(火・祝)) 5組10名様 ※締切/10月31日
プレゼント！
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記、文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹郷町館
美術文庫



昆虫館

ウラ側へ
のぞいてみる



特集 企画展示はどうやって

伊丹市立美術館と伊丹市昆虫館の裏側を覗いちゃいました

取材・文／平井和哉 (0.1knot)

知識が豊富、という程度のレベルではないのだ。各施設が収蔵している物を並べていくだけなら、何の造作もない。けれど、それだけに留まってしまうと、観る人が退屈だ。そのためには近隣はもろろん全世界にある他の施設が持っている収蔵品や、一般のコレクターから借りることも必要。そのネットワークの構築や蓄積が各学芸員の腕の見せどころであり、そういう学芸員が常駐する施設ほど、展示の内容が充実するそうだ。うーむ。奥が深い。

さて前置きが長くなった。今回は美術館と昆虫館の企画展示に焦点を当て、展示に至るまでの作業を追った。普段観ることのできない、展示のウラ側へ、ようこそ。

作られていくんですか？

決してナメていた
ワケではないけど。

それぞれの学芸員さんには怒られるかもしれないけど。正直、ここまでとてつもないとは思っててもみなかったのである。

読者の皆さんが、普段何気なく観覧している各施設が開催している企画展示。このウラ側には、各館、というか各専門のプロフェッショナルな目と手による壮絶なテクニックと計り知れない手間がかけてられていることを、今回改めて知った。いや、決して大袈裟な話ではなく。

当たり前のことだけど、それぞれの施設に常駐するスタッフは、その道の専門家である。が、ただ



手作りパネル

左/イラストレーターというデザイン専用ソフトを使い、スタッフが独自のパネルを制作。豊富な知識量による専門性の高さはもちろん「子ども向けであること」が大前提なので、しっかりと言葉を噛み砕き、分かりやすく表現することも必要。右上/完成した印刷物。見やすい位置に配置することも大切だ。右下/事務所には大判印刷用のインクジェットプリンターもある。こうやって一枚一枚丁寧に仕上げていく。



左/準備した会場内の配置図に基づき、収蔵庫から搬出する作品を綿密にチェック。約9,000点もの収蔵品の中から、間違えのないように搬出できるのも日ごろからの管理・整理のため。

右上/「あて布団」と呼ばれる布のクッションを、台車と作品の間にしっかりかませておく。作品を傷めることは絶対にできない。

右下/美術梱包の専門業者に運搬を依頼。搬出から展示までを作業してもらう。

収蔵庫からの搬出



右上/種別ごとに分けられてはいるが、通常はこういった状態で標本化されている。企画に合わせて標本は整理されていくので、ひとつ企画を作り上げるごとに標本そのものの精度が上がる。左上/企画用の標本箱が完成したら、展示場所に移動させる。左下左/企画が終われば展示されていた状態で再びストック。左下右/標本作りの作業スペース。

収蔵庫・所蔵品

昆虫館

美術館



デスクワークと修復家

作品の説明をする「キャプション」作りや会場の壁紙の色を決めるなど、事前の準備は地道な作業。もちろん作品について熟知していないとできない作業だ。また同館には専属の修復家が常駐しており、作品の修復はもちろん、作品の管理やメンテも行う。



プロとしての徹底した意

識と卓越した仕事の数々



飼育と管理

貴重な昆虫を飼育・管理するのも大切な仕事。昆虫がミツを吸いやすい

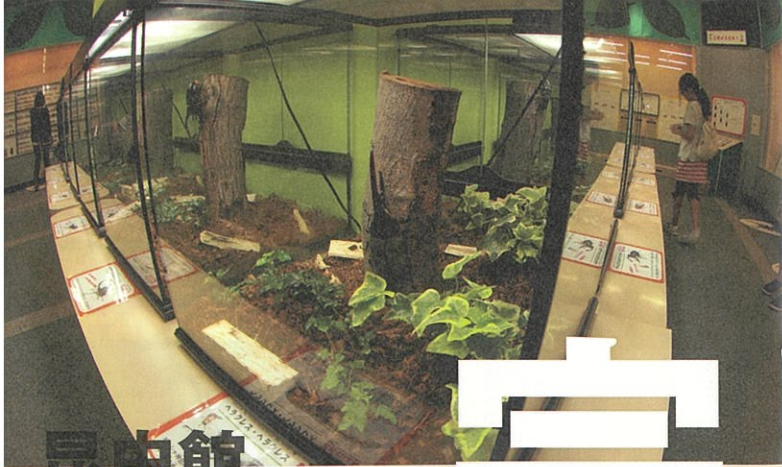
細工をしたり、ミツそのものも市販のものではなく、オリジナルのミツを工夫して作り上げるなど、プロとしてのこだわりが満載だ。右下のペットボトルがカブクワのミツ。同館では制作者の名前から「田中ジュース」と呼ばれる。



会場設営



学芸員立ち会いのもと、美術梱包業者とともに会場設営を。フラットな真四角のフロア内にはお客さんの導線や作品がより良く見えるための間仕切りがされる。また作品を飾る高さや場所、順番などもその都度微調整しながら手際良く陳列。左上の写真のように、作品によってミリ単位で作品を飾る高さを変えるなど、とても繊細な作業。だがこういった作業の積み重ねで印象が大きく変わるのだ。



昆虫館



美術館

完成



展示をより良いものにするための学芸員の想い



Curator's comment

昆虫や自然の魅力を伝えるために作った展示で、お客様の喜ぶ顔を見るのはとても嬉しい瞬間です。面白い展示を作るための基盤となっているのは、地道な調査・研究と収蔵資料の収集です。大きな博物館に比べると収蔵品は多くはありませんが、学芸員それぞれの専門性や強みを活かした、他には真似のできない収蔵を心がけています。同時に、伊丹に生息する昆虫をはじめとした動植物の全貌説明を目指し、地域の標本の収集にも力を入れています。(伊丹市昆虫館/長島聖大)

プチ展示 モズのはやにえ

10/3(金)~1/19(月)。9:30~16:30(入館は16:00まで)。
火休(祝日の場合、翌日休)。大人400円、中高生200円、3歳~小学生100円。

虫たちがもっと身近になる

伊丹市昆虫館

昆陽池3-1 ☎072-785-3582

Curator's comment

美術品は今ここに一点しか存在しない宝物です。その宝物をお客様が楽しんで鑑賞できるように、学芸員はまるで演出家のように、作品が最も活きる空間で展示するように心がけています。もちろん良い状態で後世に残すことも義務。それをしっかり胸に刻んで、今後も展示活動したいですね。

(伊丹市立美術館/岡本 梓)



The Collection 2014

Room1: 逆光 / Room2: 諷刺画にみる 恐るべき!? 子どもたち

9月13日(土)~11月3日(月・祝) 10時~18時(入館は17時半)
月曜休(祝日は開館、翌日休)、一般300円、大高200円、中小100円
諷刺とユーモア

伊丹市立美術館

宮ノ前2-5-20 ☎072-772-7447

京都フィルハーモニー室内合奏団と歌う 日本の歌コンサート ～懐かしい映画音楽をまじえて～

11月22日(土) 開演 15:00 (開場 14:30)
火曜休 (祝休日の場合翌日)、S席(1階席) 2,500円
A席(2階席) 2,000円 (全席指定)



島崎さんの好きな日本の歌は?
日本の歌は歌詞も情緒があり、素敵な曲がたくさんあります。それぞれの曲の情景を思い浮かべながら、楽しく歌っています。好きな曲、沢山ありますが、子供から大人まで誰からも愛されている歌「ふるさと」かな?
伊丹市のイメージは?
最後にメッセージを。
また伊丹の皆さまとお会い出来るのが楽しみです! 京都フィルハーモニー室内合奏団と楽しいひと時を過ごしましょう。

歌手・島崎政子さんインタビュー
京フィルの生演奏をバックに、お客様も客席で島崎さんと一緒に歌っていただくコンサートです。お客様も主役ですね。
そうですね。オーケストラの生の演奏で歌える機会は滅多にない事ですので、皆さまも遠慮せずに、是非一緒に大きな声で歌ってコンサートを盛り上げて下さいね。
今年、小学校の芸術鑑賞会で伊丹市内の全市立小学校をまわらせていただきました(実は6年前にも)。子供達はとっても素直で、熱心に聴いてくれていました。伊丹市とは、何か縁があるようで、伊丹に来るとすごく懐かしい気持ちになります。また、自然が豊かで、昆陽池公園の白鳥、荒牧バラ公園のバラなどが有名ですね。行く道、行く道、たくさんバラを楽しませていただきました。そして、文化施設も充実していますね。

アンタピュールいたみホール 伊丹市 転保 麻子

ワールドワイドな文化を、 ラストで学ぼう!

取材・文/大江麻衣子(ラストホール)

**伊丹にいなながら、
世界に触れる。
世界の食事文化を
楽しもう。**

ラストホールの名物講座の一つに、「世界の食事文化を楽しもう」がある。その名の通り、世界各地の食事文化を学ぶ講座である。講師は文化人類学的見地から世界の食事文化を研究している、香菜緑さん。講座はまず受講生の自己紹介から始まる。その日によって、「消費税増税前に買いだめした物は?」「経験したことのある怪奇現象」など、その時々話題を取り上げて受講生に話をしてもらうことで、講座の雰囲気や和み、受講生同士の交流が図られる。その人の意外な面や、趣味を発見するのも楽しい。いずれも好奇心旺盛で魅力的な方々である。

その国の地理、歴史、文化、民族について学び、食事文化の話聞く。その後、調理実習をして、楽しく会話しながらの試食。馴染みの薄い国だからといって、手に入りにくい食材は使わず、身近な食材で作れ、その国の家庭料理でありながら日本人にも食べやすいレシピは、香菜さんオリジナルである。「お話がとっても興味深く、料理もいろんな歴史の中で作られてきたことがわかり、より味わい深くなります。ただおいしい、と食べることから1歩踏み込んだ気がしました。旅行に行く楽しみも増えました。」と受講生。伊丹にいなながら世界に触れて、料理を味わいながらその国の音楽も楽しめる、まさに一石三鳥の講座である。



世界の食事文化を楽しもう

10月26日～3月29日(日)全5回 10:30～13:30

受講料: 10,000円

文化人類学的見地から世界の食事文化を楽しめます! (要申込)

市民文化活動の拠点

いたみホール (伊丹市立文化会館) 宮ノ前 1-1-3 ☎072-778-8788

生涯学習の拠点

ラストホール

南野 2-3-25 ☎072-781-8877

11/8 (土)～12/23 (火・祝)

魂の画家 ルオーの名品を一覧に!

美術館



ルオーの肖像画「オットー・フォン・シュタイン」
1869年

20世紀を代表する画家ジョルジュ・ルオーは人間の本性を鋭く洞察し、厚重なマチエールと太い輪郭線、暗く輝く色彩で描きました。本展は、国内屈指のコレクションを誇るパナソニック汐留ミュージアム所蔵の中から、初期から晩年までの油彩画と版画を約100点紹介します。

パナソニック汐留ミュージアム所蔵「魂の画家 ジョルジュ・ルオー展」

11/8 (土)～12/23 (火・祝)、10:00～18:00 (入館は17:30まで)。
一般800円、大高生450円、中小生150円。072-772-7447

11/15 (土)～12/23 (火・祝)

日本酒を愉しむ「酒器・酒盃台」

工芸センター



大貫 WU Ching-Chih
「The Trace of Rainwater」

日本全国、また海外からも多数応募のある「伊丹国際クラフト展」の入賞・入選作品を一挙公開します。日本酒が美味しくなる酒器と酒盃台がたくさん。お求めいただける作品もあるので、お気に入りの一品を探してみてください。会期中、近隣の飲食店で酒器を使っていただけの企画も。

2014 伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」

11/15 (土)～12/23 (火・祝)、10:00～18:00 (入館は17:30まで)。
月休 (祝日の場合、翌日休) 無料。072-772-5557

11/15 (土)・11/16 (日)

時代を切り取る大人気作、登場!

アイホール



撮影:平岩亨

岸田國士戯曲賞や向田邦子賞を相次いで受賞、注目を集める岩井秀人率いる劇団が大人気作を引っさげて登場です。胸の中に大きな空虚を抱いた女子ヒドミ。生きている実感を持ってない今の時代感覚を、鋭利に切り取る劇世界にご期待下さい。

ハイバイ「靈感少女ヒドミ」

11/15 (土) 17:00/20:00、11/16 (日) 14:00。一般3,000円
(当日500円増)、学生2,500円 (前売・当日とも)。072-782-2000

レビュー

京イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。
詳細は各施設にお問い合わせください。

11/17 (月)

巨匠ヴァイオリニストが奏する珠玉のブラームス

伊丹アイフォニックホール



今世紀最高のヴァイオリニストの一人と言われる関西フィルハーモニー音楽監督のオーグスタン・デュメイが初登場! 関西フィルメンバーとともに送る、濃密なブラームス「ピアノ五重奏曲へ短調作品34」ほか、珠玉の室内楽を。

デュメイ&関西フィル
オータム・スペシャルコンサート

11/17 (月) 19:00 一般4,000円/高校生以下2,000円。
全席指定。072-780-2110

12/7 (日)

でんじろう先生のわくわく実験!

いたみホール



でんじろう先生による客席参加型の教育エンターテイメント!! 空気砲やバルーンを使った実験など、お子さんから大人まで楽しみながら科学が学べる、おもしろ実験満載の公演をぜひ。

米村でんじろうサイエンスショー 2014

12/7 (日) [1回目] 13:00 [2回目] 15:30、S席 (1階) 2,200円、
A席 (2階) 2,000円。全席指定。072-778-8788

12/21 (日)

歌声とヴァイオリンで贈るクリスマスプレゼント

ラストホール



舞台と客席が一体となり、クラシックを身近に楽しめるコンサート。今回は、洗練された歌声、ヴァイオリンの調べ、ピアノの旋律とともに、心に残るクリスマスのひと時をお楽しみいただけます。出演:西垣千賀子、福田かおり、木田雅子、林朋美、お話:足立勝。

いたみアーベントコンサート Vol.83

12/21 (日) 14:00。一般1,600円、高校生以下・60歳以上1,200円
(当日一般400円増、高校生以下・60歳以上300円増)。072-781-8877

10/3 (金)～10/5 (日)

劇団の新たな代表作、待望の再演

アイホール



撮影:石川峻三 (studioSTR)

劇団太陽族の代表作であり、90年代演劇の傑作『ここからは遠い国』のその後を描き、高い評価を得た本作が待望の再演です。95年、日本を震撼させたオウム真理教事件をモチーフに、この国の現在を今一度、問い直します。

劇団太陽族「それから遠い国」

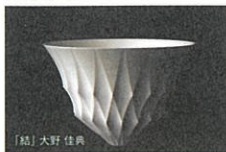
10/3 (金) 19:30、10/4 (土) 16:00/19:30、10/5 (日) 14:30。

★同時上演企画 リーディング『ここからは遠い国』一般3,000円
(当日300円増)、学生2,000円 (当日300円増)、リーディング1,000円、
前売セット券 (リーディング+それから遠い国) 3,800円。072-782-2000

10/4 (土)～10/26 (日)

21人の素材とかたちを一覧に!

工芸センター



「結」大野 佳典

関東在住作家の陶芸・漆芸・金工・竹工・ガラス工芸作品を紹介する展覧会。震災を乗り越え、関東で活動が続ける気鋭の作家21名による「うつわ」の作品が一堂に会します。関東地方の工芸の「現在」を切り取ることにより「未来」が展望できるような展覧会になればと考えます。

関東のうつわ展-21人の素材とかたち-

10/4 (土)～10/26 (日)、10:00～18:00 (入館は17:30まで)。

月休 (祝日の場合、翌日休) 無料。072-772-5557

10/19 (日)

バッハ〜時代を超えた奇跡の親子

伊丹郷町館



今、ドイツ各地で注目されている「高田泰治のJ.S. バッハ」を酒蔵で。そして今年生誕300年を迎えるバッハの次男=C.P.E. バッハの作品を、延原武春と浅井咲乃が描く「酒蔵バロック」魅惑のひとつとき――。

テレマンのバロック音楽の宴 vol.22
「二人のバッハ〜時代を超えた奇跡の親子〜」

10/19 (日) 14:00、2,000円 (当日500円増)。全席自由。
072-778-8788 (いたみホール)

アイテムおすすめのイベント

10/31 (金)～11/2 (日)

男と女、賢沢な二人芝居

アイホール



撮影:石川峻三

暴力団組長の妻だった女と鉄砲玉だった男。二人は関係がバレるのを恐れ逃亡する。それから数年、とある地方都市で隠れて暮らす二人に追跡の手が忍び寄り…。昨年、東京で初演され好評を博した本作が、満を持して登場です。

千葉雅子 × 土田英生 舞台製作事業
「姐さん女房の裏切り」

10/31 (金) 19:30、11/1 (土) 14:00/19:00、11/2 (日) 14:00。一般3,500円
(当日300円増)、U-25 (25歳以下) 2,500円 (当日300円増)。072-782-2000

11/2 (日)

超絶技巧とユーモアあふれる舞台

伊丹アイフォニックホール



40年以上にわたり世界中を魅了し続けている、プラス音楽の開拓者「カナディアン・プラス」。バッハやブラームスなどのクラシック曲をはじめ、スペイン民謡やタンゴなど、多様なジャンルの曲をお届けします!

aiphonic 地球音楽プログラム
「伝説の金管五重奏団」

11/2 (日) 14:00。
一般4,000円、学生3,000円 (当日各500円増)。全席指定。072-780-2110

11/8 (土)～12/23 (火・祝)

酒造業で栄えた郷町で日本酒にまつわる手ぬぐい展

伊丹郷町館



今年築340周年を迎える旧岡田家住宅・酒蔵。工芸センターの伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」に合わせ、日本酒にまつわる手ぬぐいを中心に明治から昭和の懐かしい手ぬぐいを展示します。

熟練の技・日本手ぬぐい展
～日本酒にまつわるてぬぐいを中心に～

11/8 (土)～12/23 (火・祝)、10:00～18:00 (入館は17:30まで)。
月休 (祝日の場合、翌日休) 無料。072-772-5959